

ボールの特性レポート

BALL REPORT



| | | | | | |
|------|--------|-----|-------|-----------------------|-----------|
| ボール名 | タクティクス | 投球者 | 徳江 和則 | センター | 平和島スターボウル |
| RG | 2.490 | △RG | 0.051 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール | |

テストボール：タクティクス

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：パラドックス・ブラック

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

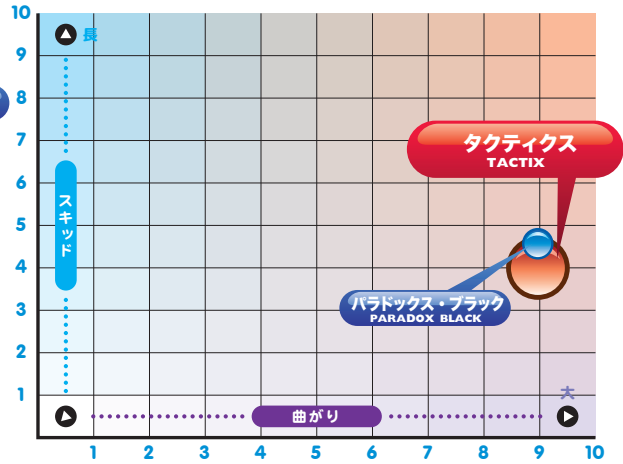
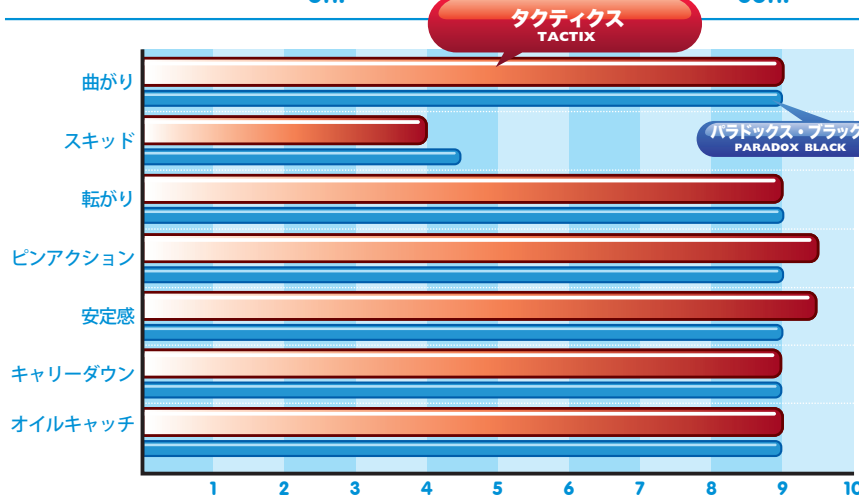
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

SSF82カバーストックと聞けば、PARADOX BLACKとRISING REBOOTに使用されたミディアムヘビーコンディションでオイル上のキャッチとドライゾーンでの反応の良い、「オイルに強く、先で俊敏に動く」イメージが感じ取れます。PARADOX BLACKは手前からグイグイ噛もうとしますが、先での動きが明確に感じられ、しっかりと軸移動してフィニッシュするイメージがあります。RISING REBOOTはミッドエリアから一度ブレーキングがかり、そこから二段曲がりて柔らかくキレ込む印象があり、これもミディアムヘビーなコンディションで一軍で活躍してくれるボールでしょう。

今回発売するTACTIXは上記二つに採用されたカバーストックのSOLIDバージョンで、SSF82 Solid Reactive。コアは新開発のStarshipを新たに送り込んできました。Electric Blueの配色からなるTACTIXは見た目Solidカバーと思わせる深めの色あい。投球してみると一番印象に残ったのが「オイルに強く、軌道が安定している」ということ。かなりオイルが濃いイメージのコンディションで曲がり始めからピンヒットまでもイメージがとて読みやすく、とにかく安定して曲がります。オイルが多くてもやや少なくなってきたり軌道のイメージが変わらずに曲がるイメージが取れるのは非常に好印象で、このようなボールがあればあまりボールの種類を考えなくても、まずはTACTIXを投げてコンディションを探る要素の強い、「ベンチマーク」な役目をする性能が強く出ています。ABSボールテスター間でもTACTIXのテスト結果は高評価が多く、発売前から注目度が高いボールです。ただ緩やかに曲がるだけでなく、ピンヒットまで動力を保ったまま動き続けるのでContinuousのボールモーションの領域では歴代1・2を争う曲りの大きさと曲りのコントロールのバランスが別格です。あなたがレーンに対峙するとき、初めに投げるボールはTACTIXです。

特記事項

PARADOX BLACKとRISING REBOOTで使用された定評のあるSSF82カバーと新開発のStarshipコアの組み合わせは緩やかに弧を描き狙ったポケットは外しません。